



HPVワクチン集団接種事業における 広報の取り組み

一般社団法人高知県医師会



1/6

集団接種事業の概要

日 時: 令和8年3月20日(金・祝)

13:00~15:30

場 所: 高知医療センター1階研修室

出務者: 医師3名、看護師3名、
事務職員6名

接種者数(住所別): 合計42名

(高知市19、室戸市1、芸西村1、香南市
8、香美市1、南国市3、土佐町1、日高
村2、土佐市1、津野町1、四万十町1、
四万十市3)

経過: 受付、問診(医師)、ワクチン接種(
看護師)、接種後観察30分(医師・看護
師)、接種後手続の順に行い、急性の副
反応の発生なく終了した。

～今なら無料で接種できます！～
HPVワクチン(子宮頸がん予防)
先着 120 名 要予約 **集団接種のご案内**

子宮頸がんは、全国で毎年約1万人が罹患し、約3千人の方が亡くなっている病気です。
若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんで、決して他人事ではありません。
HPV ワクチンを接種することで、子宮頸がんの原因となる HPV の感染を約80%～90%
予防できるとされており、ワクチンで防げるがんと言われています。

対象者 高知県内に住民票がある方で、
◆定期接種
小学校 6 年生から高校 1 年生相当の女子
(16 歳未満の方はなるべく保護者同伴をお願いします)
◆キャッチアップ接種(2回目・3回目の方)
平成 9 年度生まれ～平成 20 年度生まれの女子かつ令和 4 年 4 月 1 日
～令和 7 年 3 月 31 日までに HPV ワクチンを 1 回以上接種した方

費用 無料(対象から外れると最大約 9～10 万円の自己負担が必要です)

場 所 高知医療センター 1F 研修室 (高知市池 2125-1)

日 時 令和8年3月20日(金・祝) 13 時～15 時30 分

持ち物 ①市町村発行の予診票(接種者が16歳未満の場合は保護者のサインが必要)
②母子健康手帳(過去の接種歴を確認します)
③マイナンバーカードまたは資格確認書
④身分証明書
(学生証等の本人確認ができるもの、ただしマイナンバーカードを持参する場合は不要)

使用ワクチン シルガード®9(9価ワクチン)

副反応について 厚生労働省 HP をご確認ください
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv.qa.html#Q2-14>)

予約はこちらから
二次元コードを
読み込んで
お申し込み
ください
<https://forms.gle/LUQrjSwZKHvNtpTY>
予約期間 2月13日～3月6日(金)まで
(予定人数に達した場合は締め切らせていただきます)

お問い合わせ
一般社団法人
高 知 県 医 師 会
TEL 088-824-8366

主催: 一般社団法人高知県医師会 共催: 高知県、高知市、高知市病院企業団

2/6

実施した広報活動①TVCMの放映



3/6

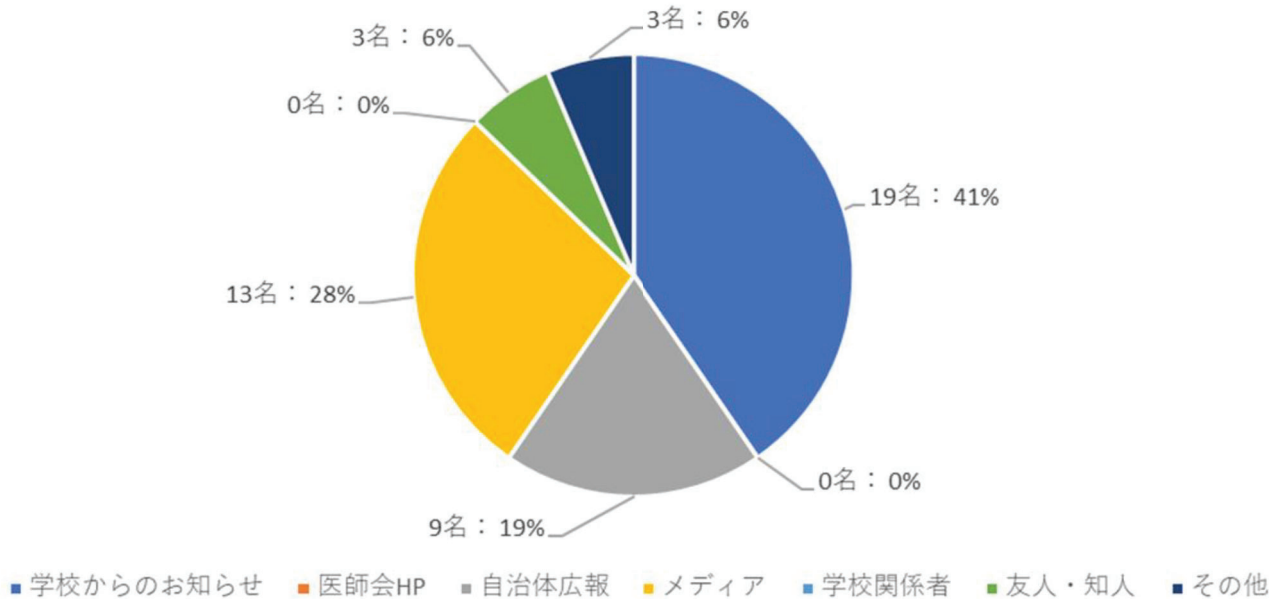
実施した広報活動②帯屋町大型ビジョンでの放映



その他、映画館にて本編上映前のCM放映を行いました。

4/6

接種のきっかけについての調査結果



①学校からののお知らせ…19名

②メディア…13名

③自治体広報…9名

④知人・友人…3名

⑤その他…3名 (複数回答可)

また、問診時に申込理由を尋ねたところ、学校からの通知・テレビ・新聞で知った、接種を考えていたところだったのでこの機会に申し込んだなどであった。

5/6

高知県医師会の HPVワクチン接種推進事業

高知県では、行政、教育委員会、県及び郡市医師会、高知大学医学部附属病院（HPV予防接種拠点病院）が協力してHPVワクチン接種を推進している。

高知県医師会は、子ども予防接種週間にワクチン講演会を開催し、新聞に啓発記事を掲載した。この度、更なる接種率向上を目指してHPVワクチン集団接種を実施した。接種にあたり、対象児童生徒に学校を通じて案内チラシを配布し、テレビ、中心商店街の大型スクリーン、映画の上映前のCMなどの広報活動を実施した。結果として接種人数は予定よりも少なかったが、これらの一連の広報活動がHPVワクチンの接種率向上に寄与することを期待し活動を継続してゆく。

6/6